

界面化学(かいいんかがく) | Surface chemistry

気相あるいは液相の物質(原子、分子、微粒子)が、その相と接触する他の相(主に固相)との界面において、相の内部と異なる濃度で平衡に達する現象。濃度が大きくなる場合を正吸着(positive adsorption)、小さくなる場合を負吸着(negative adsorption)という。ファンデルワールス力による比較的弱い物理吸着と共有結合などによる強い化学吸着に分類される。

(寺西)